

多くの企業がSDGsの達成を目指した活動に取り組んでいるだけに、獣害問題が広く知られるようになれば、ネットヨタ神戸株のように獣害対策に参加する企業が現れることが期待される。

おいしく食べて獣害対策! 放任柿の早期収穫とその利用

県立篠山東雲高等学校地域農業科

丹波篠山の獣害対策には地元の篠山東雲高等学校に通う生徒も参加して

おり、同校地域農業科の

さんが登壇。獣害対策に関わった経緯と活動内容を紹介してくれた。

「丹波篠山市の獣がい対策実践塾」

(詳細は後述)に参加して、農業を行

う上で獣害が大きな問題になつて

ることを知りました。実践塾ではサ

ルの追い払いや、防護柵の点検など

れたカキを早期収穫して、お腹を

いカキが成りっぱなしだと、お腹を



図2 センターマツリでのジャムの販売風景
獣害対策の一環で収穫されたカキを利用していることが事前に新聞で報じられていたこともある、丹波篠山市民センターまつりでは柿ジャムなどの加工品は完売した。



図3 ふるさと納税の返礼品に決まった柿ジャム
ふるさと納税の返礼品に申請した結果、丹波篠山の名産品の黒豆、栗のジャムとセットで柿ジャムが寄付した人に贈られることになった。

多くの企業がSDGsの達成を目指した活動に取り組んでいるだけに、獣害問題が広く知られるようになれば、ネットヨタ神戸株のように獣害対策に参加する企業が現れることが期待される。

丹波篠山の獣害対策には地元の篠山東雲高等学校に通う生徒も参加して

おり、同校地域農業科の

さんが登壇。獣害対策に関わった経

緯と活動内容を紹介してくれた。

「丹波篠山市の獣がい対策実践塾」

(詳細は後述)に参加して、農業を行

う上で獣害が大きな問題になつて

ることを知りました。実践塾ではサ

ルの追い払いや、防護柵の点検など

れたカキを早期収穫して、お腹を

いカキが成りっぱなしだと、お腹を

第5回 獣がいフォーラム 獣がい対策の新展開 ~高齢化・過疎化にどう立ち向かうか~

後編

取材協力・資料提供/NPO法人里地里山問題研究所(さともん) 取材・文/
[REDACTED]

農産物を狙う野生鳥獣が圃場へ侵入することを防げば、理論上、被害をゼロにすることができるはず。しかし、圃場を囲う防護柵は風雨に曝されるうちに破損し、開いたすき間から野生動物が侵入。農産物は食い荒らされてしまう。定期的に防護柵の点検などをする人員が求められるも、都会以上に少子高齢化が進む中山間地域で獣害対策の担い手を確保することは簡単なことではない。そこで地域外に住み、農業以外の職業に就いていない人達にも獣害対策に関わってもらうため、「関係人口」を増やしていくことが求められている。兵庫県丹波篠山市では獣害対策の「害」の漢字をあえて平仮名の「がい」で表記し、様々な属性の人々が参加できるようにしているという。そして2023年2月5日、同市で「第5回獣がいフォーラム 獣がい対策の新展開～高齢化・過疎化にどう立ち向かうか～」が開催され、関係人口を増やすための様々な取り組みが紹介された。フォーラムではいかなる取り組みが紹介されたのか。その後編をお届けする。

企業と獣がい対策

ネットヨタ神戸(株)取締役

黙害対策の担い手の減少が懸念されている以上、実際に対策に携わる人が増えることが求められる。その点でネットヨタ神戸(株)の取り組みは注目に値する。同社取締役の

さんがこう説明してくれた。
「地域が活性化してこそ当社が社としての営業を続けられる」という想いがあり、さともん(詳細は後述)の

様に相談させていただいたところ、獣害の実態を教えていただきました。何かお手伝いさせていただることはないかと考え、2022年には防護柵の点検や草刈りなどの作業に関わらせていただきました(図1)。まだ獣害対策のお手伝いをしていると言えるところまでできておらず、体験させてもらっているとい



図1 ネットヨタ神戸(株)の取り組み
ネットヨタ神戸(株)の皆さんは、丹波篠山の課題を知り、防護柵の管理(右)や草刈り作業(左)に参加している。

様に相談させていただいたところ、獣害の実態を教えていただきました。何かお手伝いさせていただることはないかと考え、2022年には防護柵の点検や草刈りなどの作業に関わらせていただきました(図1)。まだ獣害対策のお手伝いをしていると言えるところまでてきておらず、体験させてもらっているとい

う程度ですが、今後も関わらせていただきたいと思いますし、この活動がSDGsの達成につながるのではないかと考えています」

SDGsとは2015年の国連総会で採択された「持続可能な開発目標」であり、近年、多くの企業が達成を目指して様々な活動に取り組んでいます。掲げられた17の目標の中には「持続可能な農業の促進」も謳っています。つまり、獣害対策への参加はSDGs活動にも適ったものと言える。